

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：こんにちは・ありがとうえん	種別：認可保育所
代表者氏名：園長 長岡 美樹子	定員（利用人数）：66名（現人数65名）
所在地：横浜市戸塚区品濃町1466-1	
TEL：045 - 443 - 6588	
ホームページ：https://www.hellothanks.jp/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2012年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社アイ・ハート福祉サービス	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：13名
専門職員	（専門職の名称） 名
	看護師：1名 栄養士：1名
	事務職員：1名 運転士：2名
施設・設備の概要	（居室数）乳児室3室、保育室3室、調理室、調乳室、医務室、事務室、 沐浴室、汚物室、職員休憩室 （設備等）床暖房、出入口セキュリティシステム、防犯カメラモニター、 冷暖房

③理念・基本方針

保育理念 園と父母、ご家庭のご理解とご協力のもと、地域に愛される保育園を目指します

保育方針 自分で考える力、協力し合える力、生きていくやさしさが身につく力を育む

保育目標

- ・正しい判断が出来る子ども人間性豊かな子ども
- ・自立心があり、創造性が豊かで協調性のある子ども
- ・挨拶が出来る子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

利用者（保護者）への便宜を図るため、朝・夕の送迎時間帯に園から東戸塚駅間の無料送迎車を運行しています。駐車場も提供し、保護者の自家用車を留めて置くことも可能です。

園庭は芝にし、子どもが自然を感じ、自由に身体を動かせるようになっています。運動会も園庭で行っています。

保育室は4・5歳合同ですが、担任は各年齢に配し、年齢ごとの保育を行うとともに、就学に向けて、他園と連携（幼保小推進連帯教育）を図りながら丁寧な保育を行うよう努めています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年10月18日（契約日） ～ 令和2年3月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成26年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)環境を生かして子どもへの保育を展開しています

畑、梅林、自然林、裏山などがある周辺の豊かな自然環境を生かし、戸外活動を楽しんでいます。低年齢児クラスでも、電車の見える東戸塚駅前デッキまで歩いて往復しています。裏山散策時は、植物や鳥、小動物を観察するなど四季を感じています。畑を借り芋や野菜の栽培と収穫を楽しみにしています。

芝の園庭で子どもたちは自由に駆け回ったり、思い切り体を動かして遊んでいます。友だちと一緒に探索して虫や草花を探したりもしています。もう1ヶ所の園庭では、じっくり、ままごと遊びを楽しんだり低年齢児クラスが利用したりしています。園内のホールやゆったりした造りの廊下の使い方を工夫し、異年齢で活動したり、遊びや活動をしています。

2)地域資源を活用して生活の幅を広げています

神社に初詣に出かけたり、消防署・高齢者施設との交流を行っています。電車に乗って横浜市民防災センター、横浜美術館、横浜こども宇宙科学館見学などを行い、市内の社会資源を有効に活用しています。園内活動に加え、戸外活動時には活動の目的に応じて行き先の公園を選んでいきます。

ボランティアは絵本の読み聞かせの複数団体を地域から受け入れています。5歳児クラスは近隣の他保育園・幼稚園・小学校との交流も活発です。さまざまな、地域資源のつながりを通し子どもたちの生活の幅を広げています。

3)地域の人たちに子育て支援活動を提供しています

地域の子育て世代の人々に向けた育児支援事業として、園庭開放、育児相談、交流保育「すくすくひろば」、育児講座を予約制で行っています。

園の取り組みに加え、地域子育て支援拠点「とっとの芽」と連携しています。「とっとの芽」主催の毎月の地域交流会では、職員2名が出向き参加者に、ふれあい遊び、ゲーム、おもちゃ遊びなどを提供しています。園は社会資源としての専門性を生かした地域への子育て支援を丁寧に行っています。

◇改善を求められる点

1)中長期計画の策定

園運営に関し、常に先を見据えた課題設定や外部変化に対応できる環境を整え、園の進むべき方向を明確にするための中長期計画を策定し、それに基づいた単年度の計画につなげていくことが期待されます。

2)人材育成の仕組み

個々の職員・主任に必要とされるスキルと期待される役割を「人材育成計画」として明確に示し、また、どのように人材を育成するか「体系的な研修計画」を作成し、人材を育てていくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2012年株式会社運営の園として開園いたしまして8年が過ぎ、2回目の第三者評価を受審する機会を頂くこととなりました。

園児数も増え、周りの社会情勢も随分と変わり、当園もいくつかも改革を行って参りました。

自己評価は、乳児各クラスごと、幼児クラスと6つのグループに分かれ行いました。とても細かく、保育園というものは保育だけでなく運営等の色々な分野から成り立っているものであるということを改めて学んだ事と思います。

保育園として社会から求められるものの大きさに気付かされたとの声もききました。保育については、様々な思いや保育観の違いもありましたが、話し合う良い機会となったと思います。曖昧になっているところは、しっかり明文化していく必要がありました。改善を最も必要とされるべきところが、これからの当園の歩んでいくべきところであると考えております。

保護者様の方からのアンケートの回収率が少なく感じましたが、面談や行事等のあと常に保護者様からの声を聞くべきアンケートを取り 丁寧に取り組んでいたこともあったの事かと思えます。しかし、厳しいご意見もあり、まだまだ説明が足りなかったと、園として求められたことに対して答えることが出来ていないと反省しております。どんなことにも真摯に受け止め信頼関係の構築に努力していかなければならないと考えております。

これからも、常に自分達の保育を振り返りながら、保育の質の向上に職員一同取り組んでまいります。

保護者様にはお忙しい中アンケートへのご協力をいただきましてありがとうございました。また、評価機関の方々にも、長時間にわたり、ご尽力いただきましたこと 誠にありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり